

1 主に使用する収蔵資料

S340814-012 台風7号各地にツメ跡



S220003 冠水が続く大沢町



左は、1959（昭和34）年8月14日に台風7号によって、狭山市の富士見橋（現・本富士見橋）が半壊した様子を伝えています。激しい水しぶきと左側の柱に着目させることで、児童に水害が建造物の損壊を起こすことを伝えることができます。

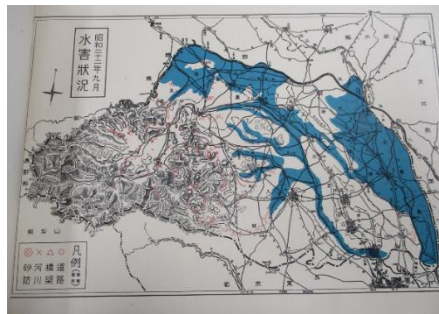
右は、昭和22年9月8日に発生したカスリーン台風による現・越谷市の被害状況を伝えています。県内各地で河川の氾濫、堤防の決壊が起こり、浸水被害が出ました。家の玄関前まで迫る水や写真奥の孤立した陸地に着目させることで、洪水であることを伝えることができます。

この二つの写真に現在の水害の写真資料を組み合わせることで、埼玉県では水害が昔からよく起こる特徴的な自然災害であることに気づかせることができます。

100972 M43年氾濫図



100972 S22年氾濫図



左は1910（明治43）年8月、長雨による利根川・荒川の氾濫による浸水の範囲を、右は1947（昭和22）年のカスリーン台風による河川浸水の範囲を表しています。二つの地図を比較すると、昭和22年氾濫図の方が浸水範囲が狭まっています。風雨の量などが違うので単純比較できませんが、政府は明治43年の浸水以後、治水計画を作成し、放水路の改作や流路変更などの対策を行っていますので、防災の効果があつたと考えることができます。

二つの地図は、比較させることで浸水範囲の減少に気づかせることができます。そして、「なぜ浸水範囲が減ったのだろう」と児童に問いかけることで、更に問題意識を高めることができます。

2 指導例

(1) 本時のねらい

- ・文書館収蔵資料を調べることで、埼玉県で起きた自然災害やその特色を理解する。
- ・当館学芸員の解説を聞くことで、自然災害や防災への関心を高めるとともに深い理解につなげる。

(2) 展開（資料等の太字は、1で紹介した資料を示します）

学習活動・学習内容	○指導上の留意点	資料等
1 知っている自然災害名を発表する。 ・地震、津波、噴火、洪水、大雪など		

2 本時の課題をつかむ	埼玉県では、どのような自然災害が起こるのだろう	
3 収蔵資料から、自然災害の影響について考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害名に合う写真を選ぶこと。</li> <li>・自然災害が起きると人々の生活がどうなるか考えること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然災害によって人々の暮らしがどうなるか、地震を例に全体で考えさせる。</li> <li>○提示された写真が、何の自然災害を指すのか、資料と災害名を対応させる。</li> <li>○自然災害ごとに考えさせる。</li> <li>○個別に写真を見たり、学芸員に質問したりする時間をとる。</li> <li>○児童の発言がまとまった後に学芸員がスライド資料を提示しながら資料解説を行う。</li> </ul>
4 意見を共有するとともに、自然災害について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害とは、自然現象が命を脅かしたり、日常生活を送れなくしたりすること。</li> </ul>	
5 埼玉県で特に多い自然災害について調べる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害年表を調べること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○副読本等にある埼玉県内の災害についてまとめたページを見て調べさせる。</li> <li>○地図を調べるとともに、学芸員がそれぞれの洪水について解説をする。</li> <li>○被害状況の変化に気づかせたのち、二つの水害の間に何が合ったのかを予想させ、関心を高める。</li> </ul>
6 まとめと振り返りをする。	埼玉県では、自然災害の中で特に洪水被害が昔から多い。	
7 文書館について知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を振り返り、アンケートに記入すること</li> <li>・文書館の紹介を聞くこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○記入漏れがないよう、アンケート項目を簡単に確認する。</li> <li>○文書館の役割や子供向けイベントを簡潔に紹介する。</li> </ul>



- ・地震：写真で見る埼玉100年より
- ・洪水・台風：**S220003 冠水が続く大沢町**、S331020-017 橋は流失したまま、**S340814-012 台風七号各地にツメ跡**
- ・大雪：S440312-047 大雪30 cm以上、S50021-023 大雪で県内の交通網マヒ



- ・災害年表（各市町村の副読本など）

- ・洪水：**100972 明治43年洪水氾濫の図**、**昭和23年水害状況**

- ・文書館紹介スライド

3 児童の感想

- ・今日の授業ですごくわかりやすい説明だったので自分で調べたくなりました。災害は昔からあって、さまざまな自然災害があるというのが分かりました。
- ・ほかにも自然災害がおきるとどんなえいきょうがあるのか分かり、もっと調べたくなりました。

4 担当より

- ・本指導例は、小学校学習指導要領社会科4年の内容（3）ア（ア）（イ）・イ（ア）を受けたものです。県内で昔から起こっている自然災害を学ぶ小単元の導入的な位置づけとなっています。
- ・本指導例では、様々な自然災害のうち、洪水、地震、大雪を扱いました。県内では、過去に噴火による降灰や日照りの被害記録を記した資料も残っていますので、それらを組み込むことも可能です。
- ・写真資料等は、学校のある地域のものがある場合には変更も可能です。